



SCI-FI REVOLTECH

SERIES No.

012 | モスラ

SCULPTED BY KINOSHITA TAKASHI

PRODUCED & MANUFACTURED BY KAIYODO

青空を背に飛ぶ太陽神の化身、その美しさ!

映画「モスラ」(1961)は、まさにカラー映画、シネスコのワイド画面のための映画だった。劇中で東京タワーの蔦が光ると成虫モスラが現れ、羽根を広げて太陽光輝く青空の下、強風をまきおこし、大空へと飛翔していく。実在する蝶の羽根の紋様からカラーリングの美しい模様を決めた羽根、トンボのようなヘッドライト状の複眼、バッタの硬質感で清潔なフォルムを持つ口。...それはまさに、どこの世界にも存在しないオリジナルの昆虫の姿をしたスーパーモンスターであった。男の子だけでなく、女の子にもファンが多い珍しい怪獣「モスラ」。それは美しくカラーリングされ、優雅に羽根をしなせ飛ぶ成虫モスラの華麗さが生んだものだ。特撮リボルテックはその美しい姿を完全再現。オプション・パーツとして、折れた東京タワーと蔦が付き、まさに誰もが知っているモスラ最大の名シーンを再現できるモデルなのだ。

- 原型製作: 木下隆志 ■翼長: 約195mm
- 可動箇所: 全13箇所
- ジョイント使用数: 4個 (10mmジョイント×1 / 6mmジョイント×3)

9/1
発売
¥2,850

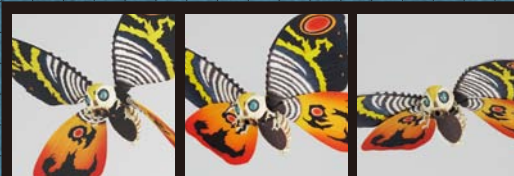
蔦にとまる、宙を舞う
どちらの状態でもディスプレイできる



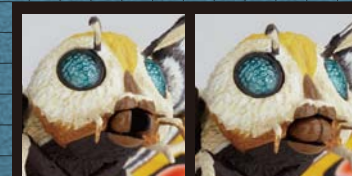
ビル、タワー、蔦を台座に取り付ける(タワーはジョイントを差す穴の開いている側面が地面の奥になるよう取り付け)

DETAIL of FIGURE

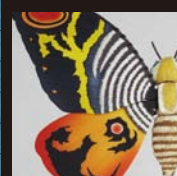
KAIYODO



胸に組み込まれたジョイントを軸に、4枚の羽が自在に可動



優しい表情を見せる眼には透明素材を使用。裏側に施された彫刻により複眼のパターンを再現。口は左右に開くことができる



極彩色の模様を細密な塗装で表現

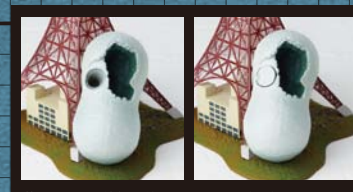


モスラをベースに飾るときは、写真のように胸と腕の間にアタッチメントパーツをはさみ、ジョイントを接続。
※リボルバージョンジョイントをタワー側面に取り付けることで、飛行状態での展示も可能

OPTION PARTS



①ディスプレイベース×1(地面、タワー、タワー内ビル、蔦、蓋) ②接続用アタッチメント×1 ③ネームプレート×1



蔦に止まった状態で飾るときは、カバーを外してアタッチメントパーツを挿しこむ



倒壊したタワーと、それにかけられた蔦にも細かなディテールが施されている